

# 生命の分析

◎人間は永遠の昔から永遠の未来に向かって転生を続けている。つまり何百億年昔から何百億年の未来に向かって転生を続けるらしいんです。

◎過去において宇宙的なことを何か学んだことのある人が、現在こうした宇宙的なことを知って、これは真実だという直感力が起こるんだそうですね。

◎人間の生き方というのは非常に深遠な、広大な流れがあります。

◎三月にアメリカのNASA（米航空宇宙局）が打ち上げたルナプロスペクターと名付けられた探査機が月へ行きまして、月の表面に巨大な氷の固まりを見つけたということが新聞に出ておりましたですね。月は死の世界ではなくて、アダムスキーが言いますように生きた世界で、また別な惑星から人間がすでにそこへ植民地としていて住んでいるんだということがこれで次第に科学的に立証される方向に来たということは大変喜ばしいと思います。

◎これを（生命の科学）徹底的に勉強しておきますならば、私たちは確実にこの内容どおりな生き方をすれば確実に今生を終えたならば別な進化した惑星に転生できるだろうと思います。

## ◎ Clairvoyance（透視）

◎生命という問題が人間にとって最大に重要なんですが、なかなか生命とはこうなんだというそういう研究というものがあまりなされていないようなふうですね。

◎宇宙の創造主（Creator）をアダムスキーが非常に頻繁に用いているということは、結局アダムスキーはスペース・ピープルとコンタクトして随分多くの知識を与えられていますから、アダムスキーが創造主という言葉が頻繁に使うのはスペース・ピープルがそもそも創造主という言葉が頻繁に使っていたからじゃないかと思うんです。

◎日本の偉大な科学者で、遺伝子の研究をされて世界的な大学者になっておられます筑波大学の村上和夫先生ですね。この方が「生命の暗号」という書物の中でどう考えても人間の細胞をあれだけ作り上げてくれた何かが宇宙に最高のものがあるんだと。

## Something Great（偉大なあるもの）

◎人間を含めたすべての生物の命は、人間の工夫や知恵で作られたものでなく、サムシング・グレートからの贈り物である事を思い出す必要があると思います。

◎良い遺伝子をおおいにオンにして（活性化させる）、ダメな遺伝子はオフにしてしまう。自分の体に呼びかける。人間の思念の力によって肉体の健康状態からどうにでもなる。

◎心と意識・・・人間の体の中に潜む精神的な二大要素

◎意識＝生命

◎マインドになりますと発達の段階が人によって全くまちまちでして、非常に高度な発達したマインドを持っておられる方もあれば、まだ非常に低次元なマインドの人もある。

◎我々は内部の意識というものをそれこそ意識してですね、それと一体化させるようにするならばマインドも次第に次元が高くなってくる。意識というのは神と同じですから、意識とマインドを一体化させるということは自分のマインドが神の方に近づいて行くということになります。

◎因果応報の法則は絶対的に働きます。

◎地球も次第に宇宙的な方向に発達していきまして、大きな機運が起こってくると思います。地球と惑星との比較の法則によって地球人が目覚めるときがいずれくるだろうと思いますね。

◎心だけで考えることをやめて、内部（意識）からくる印象をキャッチするようにしなさい。

◎樹木というのはやはり生命を持って生きています生き物ですから人間の想念に応えるんです。

◎あらゆる人間の魂、つまり宇宙の意識です。これは完璧な絶対的な善そのものである。

◎イエスという方は実在した事は全く間違いありません。イエスという超偉大な人物が実在したことはイエスに死刑を宣告したポンティウス・ピラトスというローマ皇帝から派遣されてイスラエル一帯を治めていたローマ総督がいました。それがイエスに会ってその印象を綴った報告書がローマ皇帝に送られていたんです。

◎一般の人間は、それ自体が原因であるエゴによって支配されている精神労働者です。

◎心は他の物質的な結果に心を任せたがる・・・現象を見て心がゆがめられてしまう。ふらふら支配されてしまう。

◎宇宙の英知＝神

神の表現・・・完璧に純粹でそうして他人を助けるような善の固まりで、そうしてまた完璧な健康体の現れ。

◎人間というのは無限の能力、可能性を持っている。それはすなわち創造主である神の現れであるからだ。

◎やってきた心の中からわき起こる印象に従って、この印象に従って他人に何かを行えば相手は喜ぶだろうか、人のためになるだろうかと考えると人のためになるだろうと思われる印象だけを選んでそれを実行すればいいんです。

◎本当のテレパシー能力をつけようと思えばとにかく心を静めて内部からわき起こる本当の印象をキャッチする。

## 質問

◆生命の科学レクチャー1は本講座中もっとも重要とアダムスキーは述べています。どこが重要なのかを考えてみましょう。

# 万物の相互関係

◎樹木というのは完全な生き物なんです。要するに生物ですから魂を持っていますからね。それで、心霊的な方面では木霊こだまともいいますが、本当は霊なんてないんで、魂があつてそこから意識による波動を出してるわけです。人間と同じなんです、人間のような自由意志が与えられておらず、ものを言うことができませんから、言葉を発しませんですけどね。しかし、樹木をジューッと観察していますとあきらかに人間と同じ立場で、こっちを見ているんだなと言うことが何となく感じられます。===万物一体

◎「植物の神秘生活」 工作舎

◎月にも植物があるそうですね。月に実は水がある。水があれば当然植物も生えるんです。緑地帯が月探査機によって撮影されてますね。その緑地帯の写真はダニエル・ロス氏の本「UFO宇宙からの完全な証拠」の中に出ています。

◎最近の新聞報道によりますと月に60億トンもの氷が発見された。琵琶湖の水の四分の一。

◎Z氏は金星人のグループとコンタクトを続けているんです。それが5月のはじめの頃コンタクトによって火星のことを聞かされたそうでして、地下に大都市が建設されていると、これはなぜかと言いますと、火星は空気が薄いために太陽の放射線、特に紫外線が強烈に降り注ぐものですから、人間の体に良くないんですね。大部分の火星人は地下に都市を建設して地下へ潜ってしまった。

◎Z氏はコンタクトといいましても、フィジカルコンタクト（体を持ったまま対面して話し合う）じゃなくて、彼の場合はテレパシーで金星人のグループから連絡が来るんです。

◎あらゆる惑星にある物質はすべて地球上にあるものとほとんど変わりはない。

◎物質の出生地は空間である。

◎来世紀になったら転生の法則が科学的に立証されるようになる。（なかば頃まで）

◎自殺した人の靈魂はどこへ転生するかと言いますと、非常な原始的な民族中へ転生していつて、原始民族として最初からやり直す。大自然と共に生きることによって改めて人間の価値を学び直す。

◎人から殺された場合は、原始民族の中へは行きませんが、あまりよい所へは転生できないようですね。

◎あまりにも自分が強烈な意志を持って何かをやろうする場合、これが危険であるか安全であるかは自分の内部の直感力でこれは知らなくちゃ他にしようがないということです。だから直感力を高めるということは重要なんです。そのために我々はこういう本を勉強しているわけです。

◎よその惑星ではものすごい進化していますから、宇宙の英知に従って生活しているわけで、地球人だけはエゴの発揮の連続です。

◎サイコメトリー→→→物品に触れてその性質由来などを感知する超能力

◎遺伝子が人間の生命そのものだというその重要さを意味してるんですが、そのことが一般に知られていない。

◎心と内部で働いている、臓物を動かしている知性とは全然別なものだ。完全に人間は二重構造になっている。頭の中で発する心と体全体を生かしている意識。

◎おもとの人間の人体を生かしている意識というものは生命そのものだ。

◎心を意識と一体化させるならば、ものすごい能力が出てくるということが言えます。意識はあらゆる能力を持っているんですから、意識というのは英知そのものであります。

◎**彼らは観察される個体があたかも自分であるかのようにその個体について意識的になるのです。**

◎他人を見た場合にこの人は自分自身なのだと思う。そうすれば自分自身にもものすごい能力が出て来るんです。

◎見知らぬ人を街を歩くのに見るでしょう。そうすると必ずそれに対してこの人は自分自身だという考え（フィーリング）を起こしますが、そこまで行かないにしても心の中で祝福の想念を送る。

◎過去生の記憶を思い出せないのは、心と意識とが一体化しないからで、これは地球人の特長ですね。

◎「あなたの細胞の神秘的な力」 詳伝舎

※細胞は意識的を持った生き物だ。そしてこの宇宙空間は巨大な意識があって、そこと細胞がつながっているんだ。

◎内蔵を切り取っても、少しでも根を残しておけば自然にそれは生えて来るんだ。そのためには心が完全（ニュートラル）な状態でないとダメだ。

◎花は人間に頼むように呼びかければ動いてくれる。

## 質問

◆心が調和的なおだやかな状態を保とうとすれば、人体内で起こる物事のすべてを知ることが心の義務であり特権であるのです。（68 p）

人体内で起こる物事を知るということを考えてみましょう。

◆彼らは（異星人）観察される個体があたかも自分であるかのようにその個体について意識的になるのです。（69 p）

観察される個体が自分であるかのように意識的になったことはありますか？ 体験談をお話下さい。

# 意識、英知、生命力

◎カルマ……インドの古代哲学の用語（カルマン）（宿命）

◎人間には絶対に死滅しない無くならないものがある。人間が転生するときそれが一緒にくっついて転生して歩きまわって、永遠がそれがいっしょくたに歩いていくということですから、結局過去生からの記憶というものは誰にでもある。

◎過去生から連綿と続いてきた私達の記憶、または知識の存続これが非常に重要なんですが、来世紀なりますと地球人も宇宙的な知識を持つようになる。

◎UFOなるものはわれわれの太陽系の別な惑星から来る大宇宙船であり、また巨大な文明が別な惑星に発達しているんだと言うことを地球人は常識として知るようになる。後20年加速度的に、幾何級数的に地球人の知識は進歩してきます。来世紀の中頃になれば、大体もう別な惑星の人達と交流をして堂々と別な惑星へ行ったり来たりするようになるそうです。

◎NASAが密かに本物のUFOを開発している。

◎転生は不公平なことではない。絶対に公平。

◎悪い宿命を持ってきた人達はどうぞすれば救われるかといいますと、それは意志の力です。これが人間の救いです。>>>>>信念の力

◎地球人は心というものしか用いないで、内部に宿る一種の感知力を応用することはまだできていない。

◎地球人はいろんな動植物だけに自分を密着させようとして、もっと空間の神秘的なものを考えようとしなさい。

◎アダムスキーが言う宇宙の意識はどんな空間にも満ちている意識です。宇宙の創造主そのものです。

◎善悪を作り出したのは人間が勝手に分類して作り出した。宇宙の意識は絶対の善

◎プラトンは宇宙の意識に気付いていた===>イデア論

◎心を完全なニュートラルな状態にして、体の中で働いている法則（人間を健康体にしようとする宇宙の意識から来る法則）によって人体が保たれているわけですが、その法則を妨害しないように自由に働かせるようにすれば完璧な健康体になる。

◎宇宙の意識は要するに創造主。これは万物を生成発展させようとしている根源的なパワー。これが満ちた世界は絶対的な世界。崩れることもなければ、途中から消えることもない。永遠にこの宇宙空間に満ちている絶対的な世界。……

絶対思想（絶対哲学）……自分の想念を絶対化させて宇宙の意識の中へ入り込んでし

まって本当に溶け込んでしまう。自分は絶対的な存在だ

◎まず考えること。それから考えることをやめて純粹無垢な状態なって宇宙空間に溶け込む

◎4次元の世界>>>宇宙空間の創造主の意識の世界。

◎宇宙は三つの波動からなっている・・・①物質の波動 ②人間の想念波動 ③宇宙空間に満ちる意識、創造主の波動

◎同調の法則・・・悪い想念波動を起こせば悪いものが同調して引き寄せられてくる。

(良い想念波動を起こせば良いものが同調して引き寄せられてくる。)

◎神は限界を知らない四次元である。神とは万物の魂。**意識とは生命を可能ならしめる、万物の魂**

◎「あなたの細胞の神秘的な力」      ロバート・B・ストーン著      祥伝社

## 質問

◆この章では4次元について多く述べられています。ここでの四次元とはどんな意味を指しているのでしょうか。



# 意識による旅行

◎インターネットで世界中がダメになるだろうと言われるほどの大きな弊害が起こっている。スペースピープルの方々がそう言っておられるそうです。

◎SPの方々はインターネットは地球を亡ぼすかも知れないというふうに言っておられるそうです。

◎意識による旅行===遠隔透視（居ながらにして遠方の光景をあたかもそこへ行ったかのように見る）Clairvoyance

◎ジョージ・アダムスキーは大超能力者だったわけです。だからこそSPの方々から目をつけられてコンタクティーになったわけです。だからSPとコンタクトしようと思えば、その基礎的な力としていわゆる超能力、遠隔透視とかあるいはテレパシーとかを持たないとダメなんです。

◎スペース・ピープルの見分け方としては服装が非常に端正で立派です。ただし顔つきは全く日本人そのものですから、顔つきだけでは全然見当が付きません。皆さん方もSPの方々にどっかであってるんですよ。

◎コソボ自治州の問題は大戦争にならない。経済問題で大きな変化が7月頃から起こる。

◎自己の目的を果たすために他人をトリコにする権利（人間にかかってきているいろんなことをやらせる靈魂）を有している死者の靈魂や靈媒というものは存在しません。あなたが持っている唯一の権利は、創造主すなわち神の似姿であるあなたの半身（実体）を認めることと、それとともに活動することにあります。

◎意識というのは人間の意識じゃなくて宇宙全体に満ちている意識体があるんですね。だからこそあれだけの天体、銀河系ができたり無数の太陽系が出来たりしてるわけです。

◎宇宙の意識体というものの中へ入り込んで、それに気がつくような自分自身がそういう意識体になるならば、これが永遠なるものとの間の分離感をなくす方法だと、そうすると人間も永遠に転生を繰り返して生きることが出来る。

◎過去生を思い出せないから地球人はいつまでたっても自分自身が向上しない。

◎脈拍===自分の行動

◎あらゆる行動が宇宙空間に記録されているんです。宇宙自体が見ているその中にちゃんと記録されています。……アカシツレコード（空間に記録されているあらゆる記録）

◎アカシツレコードの記録を自分が読みとる、あるいはそれを透視する力を持ちさえすれば自分の過去生のことは全部見えるはずですよ。

◎アダムスキーは過去生が完全に透視できたようでして、手紙を見ても本人の過去生がある程度わかったそうです。

◎テレパシー能力をある程度開発してそれをもっておられませんとなかなか SP の方々は近くに寄ってきません。

◎意識===人間を生かしている生命力、原動力、根本的な知性

◎意識というものを人間がはっきり意識するようになる。これを意識的意識あるいは意識される意識といいます。

◎「**見なくても信ずるものは幸いである**」肉眼は宇宙空間の遠方を見ることは出来ませんが、**”意識眼”**はそれが出来るのです。

◎別な惑星の大文明を内部の意識は皆知っているんです。心がそれを受け入れる人となない人があって心の発達状態に差があります。

◎貧弱な体をしている人はそれなりに自分で体を鍛練して運動をして鍛えりゃいいんで、それをやらないような状態でいたらいつまでも貧弱ですね。それと同じように自分の心もちゃんと鍛えなくちゃいけないんです。

◎忍耐をあなたの土台として心をしだいに意識のなかへ浸透させなさい。

アダムスキーが口癖のように言っていた言葉

「Always, be patient」 いつも忍耐強くありなさい。

◎一時に感受する印象または映像は、ある事柄のほんの一部にすぎないことを常に記憶することが肝要です。感受する印象に対して絶対に疑惑を起こしてはいけません。

◎本当に宇宙的な印象なのかそれとも単なる妄想なのかどっちだろうかということがよく問題になるんですが、その場合も一応客観的に自分に見える映像または印象をそのままとっとくんですね。そうするといつか後になってどっちが本当か自然わかってくる。

◎遠隔透視の場合はただ漠然として遠方を見てやろう見てやろうと思ってもダメですから、前額部（額のちょっと奥）に自分だけのスクリーンがあって、それに映像が映ってくるんだとそういう気持ちを起こすんです。その練習を毎日、五分なら五分と決めて練習されるとよろしいです。

◎常に記憶すべきことがあります。意識はすべてを包容する力であり英知であるということです。

◎ Conscious Consciousness 意識される意識

◎新約聖書によりますとナザレの聖母マリアという人がバージンのままでイエスを生んだというのが定説となっていて、世界中のキリスト教徒が信じて疑わないんです。そういうことは宇宙の法則から見てあり得ないことです。ところが聖母マリアという人が彼女が生んだんじゃないんです。ものすごい話があるんです。実際にある両親の元でイエスは生まれて、とにかく両親が非常に立派な人が別にいたんだということ、そして母親は意外な人であったということです。